

屋久島国立公園だより



2010年1月号

発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343

TEL: 46-2992, FAX: 46-2977, E-mail: RO-YAKUSHIMA@env.go.jp

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

☆2010年はどんな年？

2010年は、バンクーバーオリンピック、FIFAワールドカップ、上海万博などビッグイベントが目白押し。宇宙でも、スペースシャトルの引退や国際宇宙ステーションの完成など賑やかです！…そして実は、前号からのテーマ「生物多様性」にとっても節目の年なのです。



2010 International Year of Biodiversity

国際生物多様性年 2010 ロゴマーク

というのは、2010年は「国際生物多様性年」なのです。国際年というのは、国連が決議したもの（世界天文年2009、国際ポテト年2008など）から、各団体が提唱するもの（例えば、国際サンゴ礁年2008、国際カエル年2008など）までいろいろですが、「国際生物多様性年」は「生物多様性の損失速度を顕著に減少させる」という国際目標を達成する年であり、国連で決議された国際年です。

この目標は、2002年にオランダ・ハーグで開催された生物多様性条約締約国会議（COP6）で決められたものですが、「抽象的でよく分からない？」といった声もありました。そこで現在、より具体的で客観性のある次の目標をたてるべく国際議論が始まっています。その主導役は今年10月に次の締約国会議（COP10）を名古屋市で開催する日本です！“地球温暖化”“京都議定書”に継ぐ、次のキーワードは“生物多様性”です！！

今回は、ちょっとマニアックな話になりましたが、日本のホットスポット“生物多様性の島”屋久島でも、山岳部トイレ問題、シカ問題、エコツアーリズムなどの諸課題の解決に向けた節目の年になりそうです。

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
本年も職員一同皆様のご期待に沿えますよう、現場第一をモットーに一層努力していきたいと思えます。変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。
黄色の制服をみかけたら、ぜひお声がけ下さい！

屋久島自然保護官事務所
自然保護官 松永暁道



年末に紙面を賑わせた COP15 という言葉。“COP”というのは“締約国会議”のこと。条約に締約した国々の代表が一同に会する会議で、条約に関する最終決定を行います。数字は何回目の会議かを示します。
気候変動枠組条約も生物多様性条約も、同じ1992年の地球サミットから署名開始されているんです。



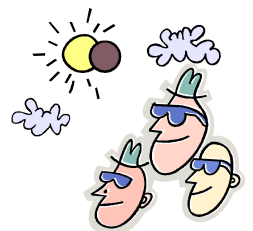
眠っている“日食めがね”があれば、再登場のチャンスです！！

1月15日は、金環食と呼ばれる日食がアフリカ中央部～インド～中国で起こります。金環食とは、太陽が月よりも大きく見えるときに起こるもので、月の周りに太陽がはみ出して、光輪上に見えます。（昨年起こった皆既日食はこの反対で、月が太陽よりも大きく見えるときに起こります。）

1月15日 部分日食 日没時に西の空で

この1月15日の金環食、屋久島でも部分日食を観測できます。鹿児島県内では、夕方5時前からかけ始め、日没時には最大56～63%が欠ける見込みです。太陽が欠けたまま沈む様子を観測することができます。2010年は天文現象の当たり年で、月食が1月1日、6月26日、12月21日と1年に3回も起こります。

※部分日食の情報は、中西書店さんからもご提供いただきました。ありがとうございます！



自然に親しむ集い

屋久島町地質
天然記念物
を見にいこう！

地質等観察会のご案内

共催 / 九州地方環境事務所、屋久島町、財団法人屋久島環境文化財団

開催日時 / 平成22年1月31日(日)8:30~12:30(受付8:10)

開催場所 / 田代海岸(永久保)、ズーフコス化石群(宮之浦)

◇定員 / 15名(先着順)

講師は、屋久島地学同好会の中川正二郎
さん(ナカガワスポーツ)です

◇参加対象 / 中学生以上

◇参加料 / 1人 300円+資料代 300円

今回は、資料として「屋久島地質たんけんマップ(日本地質学会発行)」を購入いただきます。
既にお持ちの方は参加料 300 円のみとなります。参加料は、ご家族で参加される場合は、
2人目から1人当たり100円となります。

◇集合・解散場所 / 屋久島町役場本庁(長峰) 駐車場

◇応募方法 / 1月12日(火)~1月22日(金)の間に、電話、メール、ファックスにて、
屋久島自然保護官事務所までご応募ください。メール・ファックスの場合は、必ず住所・
氏名・自宅の電話番号をご記入ください。なお、応募は“先着順”とさせていただきます。

◇服装、持ち物など / 運動靴、動きやすい服装、雨具(カッパ、傘)、水筒等

◇その他 / 悪天候等のため中止する場合は、前日18時半までに 電話連絡します。

世界遺産センター情報

Information

水歌森響

内室二郎写真展

12月18日(金)~1月31日(日)

開館時間: 9:00~17:00(土曜は除く)

屋久島在住の写真家・内室二郎氏が見つめた2つの山、鳥海山と屋久島。気候も植生も違うこの遠く離れた2つの山に見出す共通のもの。

「森の様相も動植物も千差万別である。しかしそこを流れる水はゆるぎないものであり、生き物達に喜びを与えいのちの響きを奏でるマエストロ(指揮者)だ。」(内室氏)

鳥海山と屋久島、それぞれ16枚ずつの写真を対比させながらご紹介します。

全国環境省ビジターセンター合同企画

地球のいのち、えがいてみよう

1月下旬~4月中旬予定



折り紙や切り絵を使って、地域の自然をまるごと1枚の大きな紙の上に表現します。屋久島では、小学校やデイケア施設を循環し、1つの作品を作る予定です。

生物多様性の日(5/22)には、全国の作品が名古屋に集結します！

※「自然に親しむ集い」のお知らせは、屋久島町のご協力により配布されています。